

令和5年度 学校関係者評価 (学校運営協議会委員)

市貝町立小貝小学校学校運営協議会

○4段階評価

A:期待以上 B:ほぼ期待通り C:やや期待を下回る D:改善を要する

評価者6名 () 評価者の人数

項目	評価項目	委員評価	
1	学校経営・方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「一人一人の子どもを大切にし、協働して信頼に応える職員集団」 (1)「豊かな人間性」「確かな学力」「健康と体力」の調和のとれた教育実践に努める。 (2)地域と共に生きる開かれた学校づくり、安全安心な学校づくりに努める。 (3)日常の教育活動で、評価改善を図りながら経営にあたる。 (4)豊かな人間性と実践的指導力を培う教職員研修を推進する。 	A (5) B (1)
2	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、働き方改革を進めるため、校務分掌や教育課程等を適宜見直し、教職員の意識を高めるよう組織的に取り組んでいる。 ・学校は、ICTを活用する等、校務業務を効率化し、働き方改革に取り組んでいる。 ・学校は、児童生徒の発達の段階に応じた適切な配慮を行い、一人一人にとって最適な学びを提供するよう努めている。 	A (5) B (1)
3	教育課程・学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、各学校が教育課程(カリキュラム)の編成、実施、評価、改善を生かした、分かる授業を展開し、資質・能力の育成に努めている。 ・学校は、ICTを有効に活用し、発達段階や学力・能力に即した学習指導を行っている。 ・学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。 ・学校は、高い教育効果が得られる学校行事を実施している。 	A (6)
4	豊かな心の育成・生徒指導・特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつする環境を醸成している。 ・学校は、教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。 ・学校は、児童生徒一人一人が個性を認め合って学校生活を送ることができる環境を整備している。 	A (4) B (2)
5	健康・体力の向上・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、体育や部活動、休み時間などを通じて、児童生徒が意欲的に運動に親むような取組を行い、体力向上に努めている。 ・学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。 ・学校は、事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるように、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。 	A (5) B (1)
6	保護者・地域との連携協力	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。 ・学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。 ・学校は、保護者や地域と連携した活動を計画的に実施している。 ・学校は、保護者や地域の方が教育活動を参観できる機会を設けている。 	A (6)
7	環境整備・施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、安全で美しい学習環境の整備に努めている。 ・学校は安全点検を定期的実施し、教育委員会と連携した施設整備に取り組んでいる。 	A (6)
<p>学校運営協議会委員の意見提言と次年度へ向けた改善策等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児・不登校気味の児童に対する教職員の共通理解が必要だと思う。 ・いじめを早期発見することも大事だが、子どもたちが生活や遊びの中で、いろいろな体験を通して、つらいことを乗り越えていく力、生きる力をつけていくことも大事だと思う。 ・運動会、持久走大会、授業参観、ボランティア活動、運営に関わって様子が見える。 ・保護者、地域の様子が感じられる。 ・もっと学校運営協議会委員と学校を見る機会を増やしてほしい。 ・地域と連携した学校運営が実現できていると感じている。継続をお願いしたい。 ・児童、保護者の評価が高いことから、教職員が学校経営方針に沿って、努力されていることが伺える。 ・「あいさつ」については、校内での取組を生かして、家庭や通学途中など、郊外でもさらに明るく元気にできるように、日頃から大人(保護者、先生)が実践していかなければならない。 ・学校関係者評価基準のうち、「A:期待以上」の評価のレベルが高すぎて、使用にやや抵抗を感じる。「A:期待どおりまたは、それ以上」としてはどうか。 ・学校評議委員会委員として、小貝小学校での様々な活動に参加させてもらった。資料や学童の子どもたちの様子から評価を行った。 ・全体的な評価として、A・Bであっても、個々の子どもたち、一人一人に根づいていなかったり、習得されていないのではないかと感じるところがある。 ・地域の伝統文化の継承について、学校で体験や学ぶ機会を引き続き作っていくことと並行して、各家庭の保護者に理解を得、体験の場を設けることで、子どもたちがさらに学べる環境づくりにつながると考える。 ・学習について、その学年で習得する学力がっていない児童も多く、学童で宿題等でサポートを要することが多い。学校の先生と学童とで連携していきたい。 			